

## 前回定例会以降の動き

平成29年3月1日  
新潟県防災局原子力安全対策課

### 1 安全協定に基づく状況確認

- 2月10日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 1号機 中央制御室床下における不適切なケーブルの敷設状況
- ・ 建屋浸水対策のための貫通部止水処理の状況

- 2月24日、6／7号機サービス建屋2階ロッカールームにおける火災について状況確認を実施しました。

### 2 安全管理に関する技術委員会

- ・ 2月9日、課題別ディスカッション「地震動による重要機器の影響」を開催しました。  
東京電力から、福島第一原子力発電所1号機の水素爆発シミュレーションの解析結果について説明があり、水素の漏えい箇所や着火の位置について議論しました。

### 3 その他

2月1日：報道発表 [原子力発電所から概ね5km圏内の住民に対して、安定ヨウ素剤を事前配布します。]

2月9日：福島事故検証課題別ディスカッション「地震動による重要機器の影響(第10回)」

2月10日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所の不適切なケーブル敷設に関し東京電力に徹底的な再調査の実施と原因及び再発防止策を報告するよう強く求めました]

2月13日：第5回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会（内閣府主催）

2月14日：報道発表 [原発事故に関する徹底的な3つの検証を進めていきます]

2月16日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟の耐震不足について東京電力に要請しました]

2月23日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所での火災の発生について（第1報）]

2月23日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所での火災の発生について（第2報）]

**原子力発電所から概ね 5 km 圏内の住民に対して、  
安定ヨウ素剤を事前配布します。**

原子力災害発生時の避難に際して、安定ヨウ素剤の服用が適時かつ円滑に行えるよう、P A Z 内（原子力発電所から概ね 5 km 圏内）の住民に対する安定ヨウ素剤の事前配布説明会を以下のとおり開催します。

今回の説明会では、転入者や未配布者、配布年齢到達者への配布に加えて、新たに開発された 3 歳未満の乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤の配布も行います。

**1 対象者**

- ・ 前回の説明会后、新たに P A Z 内に転入・転居された方  
（平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日の間に転入等の届出をされた方）
- ・ 平成 29 年度末で 3 歳未満の乳幼児  
（平成 27 年 4 月 2 日以後生まれの方）
- ・ 平成 29 年度中に 3 歳になる方  
（平成 26 年 4 月 2 日～平成 27 年 4 月 1 日生まれの方）
- ・ 平成 29 年度中に 13 歳になる方  
（平成 16 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日生まれの方）
- ・ これまでの説明会における未配布者

**2 配布日時・場所**

日時・受付時間	会場
平成 29 年 3 月 3 日(金) 13:00～18:30	柏崎市文化会館アルフォーレ (柏崎市日石町 4 番 32 号)
平成 29 年 3 月 4 日(土) 10:00～16:30	

※柏崎市及び刈羽村ともに、同一の会場で事前配布します。

**3 説明会の内容**

- ・ 説明会では、安定ヨウ素剤の効用や副作用等に係る DVD 説明の後、薬剤師や保健師による既往症や薬の服用状況等の確認や、必要に応じて医師の問診を行った上で、安定ヨウ素剤を配布します（過去 3 回の説明会と同様の方法で実施）。
- ・ 3 歳以上 13 歳未満の方及び平成 28 年度中に 13 歳になる方（追加分）には 1 錠、13 歳以上の方には 2 錠配布します。
- ・ 3 歳未満のゼリー状安定ヨウ素剤の配布対象者には、保管や服用方法等を記載した資料を配付し、薬剤師等が服用方法等について説明します。

本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 宮本  
(直通) 025-280-5182 (内線) 2540

# 福島事故検証課題別ディスカッション 地震動による重要機器の影響（第10回）

日時：平成29年2月9日(木) 13:30～16:00

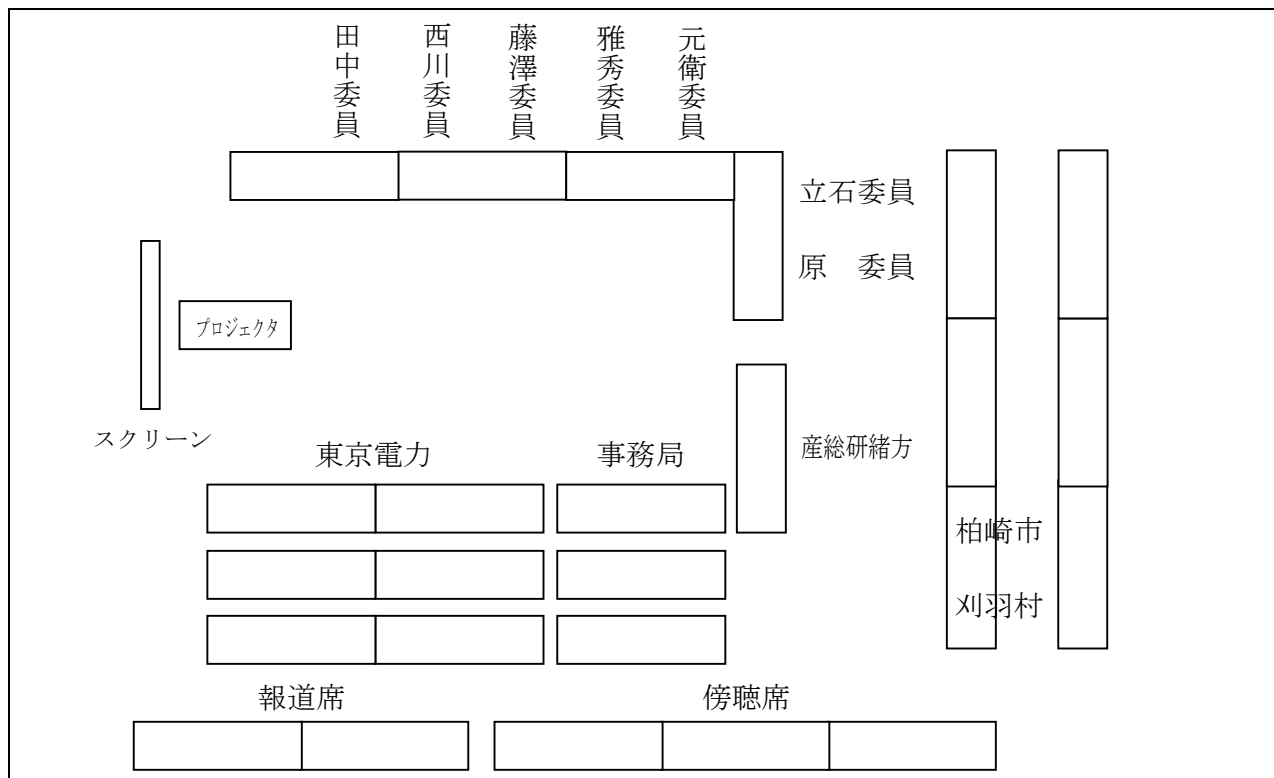
場所：新潟自治労会館6階会議室

- 1 開会挨拶
- 2 テーマ 水素爆発解析 等
- 3 閉会挨拶

## 出席者

区分	職名	氏名
委員	コアメンバ 科学ジャーナリスト	田中 三彦
	東京都立大学名誉教授	西川 孝夫
	新潟大学工学部（教育組織）教授、新潟大学可視化情報研究センター（研究組織）センター長 教授	藤澤 延行
	長岡技術科学大学大学院工学研究科教授	鈴木 雅秀
	元・日本原子力研究開発機構安全研究センター研究主幹	鈴木 元衛
	新潟大学名誉教授	立石 雅昭
	新潟工科大学副学長	原 利 昭
東京電力	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	宮田 浩一
東京電力	原子力設備管理部安全調査G	増井 秀企
オブザーバー	国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門 副研究部門長	緒方 雄二

## 座席図



平成29年2月10日  
防 災 局

**柏崎刈羽原子力発電所の不適切なケーブル敷設に関し  
東京電力に徹底的な再調査の実施と原因及び再発防止策を  
報告するよう強く求めました**

本日、県は、2月7日及び9日に1号機中央制御室床下で不適切に敷設されているケーブルが新たに見つかった件について、現場で状況確認を行いました。

不適切なケーブルの敷設については、平成27年10月に徹底的な調査を求め、全号機の中央制御室床下について、昨年10月に是正措置が完了したとの連絡を受けていました。

しかし、昨年11月に7号機中央制御室床下で新たに不適切なケーブルの敷設が見つかり、県では徹底的な確認と原因究明、再発防止策を求めていました。

このような中、不適切なケーブルの敷設等が今回も含め数件確認されており、本日、現場を確認したところ、7号機と同様に、前回の調査が十分ではなかったことが確認されたため、改めて、徹底的な再調査の実施と、原因及び再発防止策を報告するよう強く求めました。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全広報監 市川

(直通) 025-282-1694 (内線) 6451

## 第5回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会

日時：平成29年2月13日（月）

13:00～14:30

場所：新潟県自治会館1階「講堂」

### — 次 第 —

#### 1. あいさつ

#### 2. 議事

- (1) 「柏崎刈羽地域における原子力防災に係る机上演習（ブレインストーミング）」  
（第4回作業部会）等を踏まえた防護対策の課題について
- (2) 新潟県広域避難対策ワーキングチーム等における取組
- (3) 原子力災害時の避難支援に向けた取組
- (4) その他

### — 資 料 —

- 資料1 机上演習（ブレインストーミング）における主な発言と課題について
- 資料2 作業部会等を踏まえた国への意見（要旨）
- 資料3 PAZ・UPZ モニタリングポスト設置（候補）地点位置図
- 資料4 本県における安定ヨウ素剤の配備配布に係る取組状況
- 資料5 地域の皆さまの安全確保に向けた「被災者支援活動チーム」の運用状況につ  
いて
- 参考資料 机上演習（ブレインストーミング）資料

## 原発事故に関する徹底的な 3 つの検証を進めていきます

県では、「福島第一原発事故の原因検証」、「原発事故が健康と生活に及ぼす影響の検証」、「万一原発事故が起こった場合の安全な避難方法の検証」を徹底的に進めていくため、関連予算を 2 月議会に提案します。

### 1 事業概要（別紙 1 参照）

- 3 つの検証を総括する検証総括委員会の設置・運営
- 福島第一原発事故原因を検証する技術委員会の運営
- 安全な避難方法を検証する避難委員会の設置・運営
- 福島第一原発事故による健康への影響を検証する健康委員会の設置・運営
- 福島第一原発事故による避難生活に関する調査の実施

### 2 検証の進め方（ロードマップ）

別紙 2 参照

<本件についてのお問い合わせ先>

◆総括委員会・技術委員会・避難委員会に関する事項

防災局原子力安全対策課 須貝  
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

◆健康委員会に関する事項

福祉保健部健康対策課 堀井  
(直通) 025-280-5785 (内線) 2651

◆避難生活調査に関する事項

県民生活・環境部震災復興支援課 遠藤  
(直通) 025-280-5218 (内線) 2374

# <別紙 1> 3つの検証 検証体制

総額 48,749千円

## 検証総括委員会 (㊟新規3,598千円)

- ・福島第一原発事故及びその影響と課題に関する3つの検証（事故原因、事故による健康と生活への影響、安全な避難方法）を行うため、個別の検証を総括する委員会を設置

### 《事故原因》

#### 【技術委員会】

- ・技術委員会において、福島第一原発事故原因の検証を、引き続き徹底して実施
- ・東京電力と県による合同検証委員会で、東京電力のメルトダウン公表等に関する問題を検証

(㊟継続13,286千円)

### 《健康と生活への影響》

#### 【健康委員会】

- ・新たに、健康委員会を設置し、福島第一原発事故による健康への影響を徹底的に検証

(㊟新規9,256千円)

#### < 避難生活に関する調査 >

- ・福島第一原発事故による避難者数の推移や避難生活の状況などに関する調査を実施

(㊟新規13,868千円)

### 《安全な避難方法》

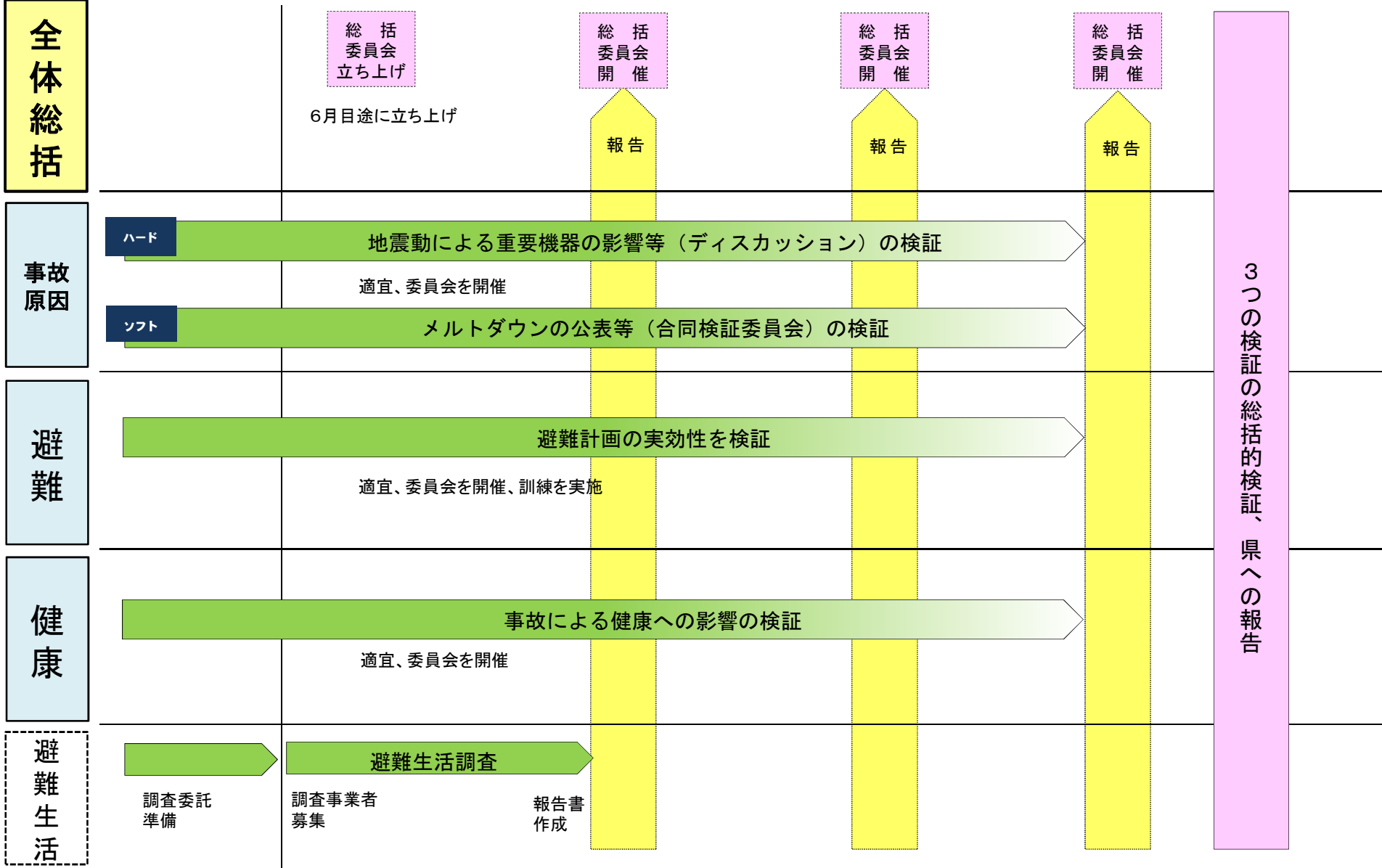
#### 【避難委員会】

- ・新たに、避難委員会を設置し、避難計画の実効性等を徹底的に検証
- ・原子力防災訓練の実施

(㊟一部新規 8,741千円)

# ＜別紙 2＞ 3つの検証 ロードマップ

H28年度      H29年度以降



3つの検証の総括的検証、県への報告



**柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟の耐震不足について  
東京電力に要請しました**

本日、東京電力に対し別紙のとおり要請しました。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

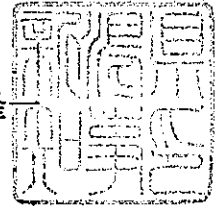
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

原 安 第 145 号

平成29年2月16日

東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 廣瀬 直己 様

新潟県知事 米山 隆



柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟の耐震不足について

一昨日、貴社が原子力規制委員会の規制基準適合性審査において、柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟が、想定する8種類の基準地震動すべてに耐えられない旨説明しました。

すべてに耐えられないことは、平成26年にすでに社内において判明していたにもかかわらず、これまで貴社は、長周期の揺れが大きな一部の基準地震動に対してのみ耐えられない旨説明してきました。

そもそも貴社は安全確保のため第三者の目を入れたいとの理由で適合性審査申請をしています。審査において、事実と異なる説明をしていたのでは、安全確保はできません。

今後、対話を続けていく上では、信頼関係が前提となります。

については、下記のとおり要請します。

記

- 1 事実と異なる説明をしていたことについて、原因及び経緯を報告すること。
- 2 このたびの事例を踏まえ、社内において講じた措置について説明すること。
- 3 免震重要棟の耐震不足の問題に限らず、特に安全対策に関わることからについては、事実に基づいた説明を行うこと。

平成29年2月23日  
16時00分  
防 災 局

**柏崎刈羽原子力発電所での火災の発生について（第1報）**

本日15時24分頃に、東京電力から柏崎刈羽原子力発電所6/7号機のサービス建屋2階のロッカー室で火災が発生したとの報告を受けました。

消防に通報するとともに、現在、初期消火は完了しています。

なお、柏崎刈羽原子力発電所は、現在、全号機とも定期点検により停止中であり、この火災による放射能漏れなどはないとのことです。

また、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全広報監 市川

(直通) 025-282-1694 (内線) 6451

平成29年2月23日  
17時00分  
防 災 局

**柏崎刈羽原子力発電所で発生した火災の鎮火確認について（第2報）**

本日お知らせした柏崎刈羽原子力発電所6/7号機のサービス建屋2階のロッカー室で発生した火災について、東京電力から16時42分に柏崎消防が鎮火を確認したとの報告を受けました。

火災の原因については、調査中です。

なお、柏崎刈羽原子力発電所は、現在、全号機とも定期点検により停止中であり、この火災による放射能漏れなどはないとのことです。

また、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全広報監 市川

(直通) 025-282-1694 (内線) 6451